

「100年に一度の変化」が到来！

今、長崎県は、100年に一度の大きな変革の時期を迎えています。この大きな変化を地域活性化のチャンスとして、暮らしやすいまちづくりや新たなチャレンジの後押しを進め、長崎県に移住したい、住み続けたいと思っただけのような、選ばれる長崎県づくりに取り組んでいます。

●新幹線駅周辺の整備

- 各新幹線駅周辺で、新幹線の開業を契機とするまちづくりが進行中です。
- 長崎駅周辺は、新駅ビルや東口駅前広場の整備により「陸の玄関口」として進化中です。
- 諫早駅周辺では、諫早駅再開発ビル「iisa」の開業や、東口交通広場の整備により、駅を中心とした新しい交流拠点が生まれました。
- 新大村駅周辺は交通利便性と快適性を活かし、市外からの人口誘引(特に若者、ファミリー層等)や企業誘致等を牽引する地域としてのまちづくりが進められています。

●長崎スタジアムシティプロジェクト

ジャパネットグループによる「長崎スタジアムシティプロジェクト」が進行中。サッカー専用スタジアムとアリーナができるほか、ホテルや商業施設、オフィスも建設されるなど、一つの大きなまちが2024年に開業予定です。



※構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります
提供: ジャパネットホールディングス

●海と空の玄関口の整備

◇国際クルーズ港の整備

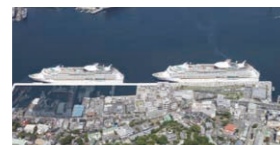
佐世保港浦頭地区に、国際クルーズ拠点の完成しました。また、長崎港松が枝国際観光埠頭の2バース化も進められており、国際クルーズ船の受け入れ環境が拡大します。



佐世保港(浦頭地区)

◇長崎空港の24時間化

長崎空港では、令和4年3月から航空管制業務の一部リモート運用が開始されました。これを契機に、24時間離発着できる体制を整備し、航空ネットワークを拡充することで、本県の地域経済や産業の振興を図ります。



長崎港松が枝国際観光船埠頭



長崎空港(提供:長崎空港ビルディング)

長崎駅周辺



※イメージは変更になる可能性があります

諫早駅周辺



●子育てしやすい環境の整備

「あぐりの丘」、「長崎のもぎき恐竜パーク」、「佐世保中央公園」など、親子が気軽に利用し、楽しめる施設が次々に整備されています。



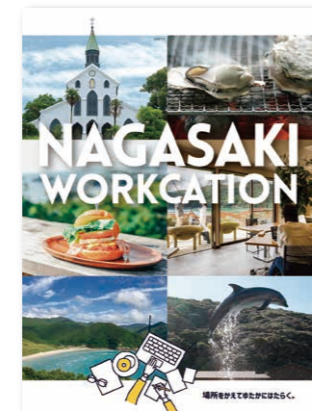
あぐりの丘(あぐりドーム)



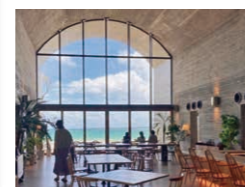
佐世保中央公園

●「リモートワークin長崎」プロジェクト

本県では、海や山などの自然環境や世界遺産などの観光資源、地域の方々の様々な交流を楽しんでいただけるリモートワーク・ワーケーション受入の取り組みを進めており、県内各地で新しいリモートワークスペースが続々と誕生しています。様々な情報をリモートワーク支援特設サイトに掲載しておりますのでご覧ください。



ACB Living(佐世保市)



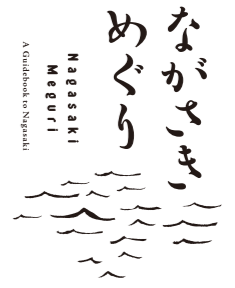
カラリト(長崎市)

長崎 リモートワーク支援

長崎のビジョン。A Vision for Nagasaki's Future

実現させよう！全線フル規格！

九州新幹線西九州ルートは、2022年に長崎～武雄温泉間が西九州新幹線として開業しました。県では、将来の九州地域全体の発展のために全線フル規格による整備の早期実現を目指しています。



■新鳥栖～博多 約26km **フル規格**

■武雄温泉～新鳥栖 約51km **未整備区間**

長崎県は、フル規格による整備を要望しています。

■長崎～武雄温泉 約66km **フル規格**

2022年開業

●2022年に西九州新幹線が開業しました
〔開業区間:長崎～武雄温泉〕

開業時点では、新幹線(長崎～武雄温泉)と在来線特急(武雄温泉～博多)のリレー運行により、長崎～博多間の最速所要時間は1時間20分となり、開業前(1時間50分)より片道30分、往復1時間短縮されました。

●全線フル規格の早期実現を目指しています

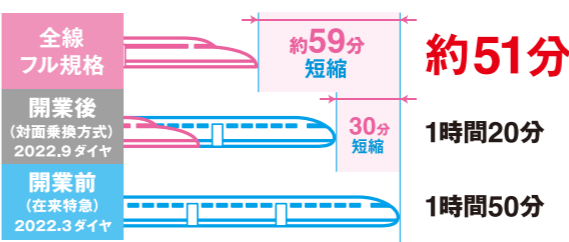
全線フル規格整備により山陽新幹線への直通運行を実現することで、リニア中央新幹線(東京・名古屋・大阪都市圏を約1時間で結ぶ高速鉄道)の完成によって誕生する世界最大の巨大都市圏の旺盛な経済成長力を取り込み、さらにはゴールデンルートに集中する訪日外国人を積極的に呼び込むことで、九州の一体的な浮揚と地方創生の実現につなげることができます。

■全線フル規格の整備効果

1 時間短縮効果

- 長崎～博多間は最速約51分
- 山陽新幹線直通運行により、関西方面まで乗換なしで結ばれ、長崎～新大阪間の所要時間は最速約3時間15分

《長崎～博多の所要時間(最速)》国土交通省試算



2 安全・快適な移動

- 高架の専用軌道を走行するため、在来線と比較して事故や自然災害による遅延や運休が少ない

3 交流人口の拡大による経済効果

- 山陽新幹線直通運行により、観光客、ビジネス客が増加し、宿泊やお土産の購入をはじめとした観光消費の増加などが見込まれる

4 定住促進

- 福岡などこれまで引越しが必要だった地域が、通勤・通学圏内となり、定住者の増加が見込まれる

